

第34回定期演奏会へ向けて

冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年11月3日（火・祝）第34回定期演奏会

記事

14時・・・オルガン搬入

15時から20分ほど発声練習

15時半～17時・・・ゲネプロ

小休止をはさみ、演奏曲順に全曲通しました。

17時半開場

18時開演

同じ水野先生の指揮を受けている渋谷混声合唱団、三菱東京UFJ銀行合唱団、東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー、その他の合唱団の方々もたくさん聴きにいらして下さいました。

20～22時・・・「タベルナ・アイ」にて打ち上げ

水野先生、チェロの伊藤恵以子さん、オルガンの平野智美さん、カメラや受付をお手伝いして下さいました渋谷他の方々もご招待。団員は1名を除き全員参加。美味しいイタリア料理とワインで楽しく盛り上がりました。

演奏会参加者

全員(14人)

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

備考

4日(水)は練習はお休み、来週の11日から新しい曲の練習に入ります。楽譜はまだ準備中ですので、練習当日に一部を配布します。

発声個人レッスンの予定

11月11日・・・辻村

18日・・・未定

25日・・・未定

希望者は辻村までお申し出下さい。

休団中のソプラノの名阪さん、テノールの片岡さんが演奏会を聴いて下さいました。

片岡さんはまだお仕事が忙しく復帰は未定ですが、名阪さんは12月か1月から復帰されるそうです。

9月に見学に来られたソプラノの方はまた見学に行きたいという事でしたが、

もう一人別の女性の方からも問い合わせがあり、1月頃に見学に伺いたいとの事です。

来年の演奏会は今年よりも人数が増えているかもしれませんね!?

これから1年間、また皆で頑張りましょう！

冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年11月1日（日）

練習箇所

Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Schein: Ich lasse dich nicht

Was betruebst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Michael: Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

J.S.Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

楽器の方が帰られてから無伴奏曲2曲の練習。

Calvisius: Singet dem Herrn ein neues Lied

Michael: Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

記事

午後3時から同仁教会3階で練習。

発声23分。

3時半からオケ合わせ。チェロ：伊藤恵以子さん、オルガン：平野智美さん

オルガンはキーボードで代用。

★Das alte Jahr vergangen ist

28～30小節のbewahretのwahをもっと強調しましょう。30小節最後からviel Zeitという言葉が第1コーラスと第2コーラスで交互に何度も繰り返されるのでその部分にアクセントを付けて強調しましょう。

★Zion spricht

2小節目のsprichtの語尾を揃えましょう。短めに。

17～18小節の第2コーラスは、先日の練習日誌にフォルテと書きましたが、ピアノです。

47ページ最後から48ページに何度も出て来るgaenzlichのgaenzをもっと強調しましょう。31小節あたりから35小節に向けてだんだん盛り上がりましょう。

38・39小節のueber den Sohn ihres Leibesはピアノです。次のUndからまたフォルテに戻ります。

★Ich lasse dich nicht

alleinはl(エル)が二つある事を意識して発音しましょう。

4分音符が3つ続くHerr, hilfest mirは、コンマを意識しましょう。

★Was betruebst du dich, meine Seele

4～9小節に何度も出て来るund bistはundもbistもはつきり。

27小節と28小節はエコーにします。27小節はフォルテ、28小節はピアノ。

29～32小節2拍目まではフォルテ、3拍目からピアノ。34～35小節2拍目まではフォルテ、3拍目から36小節はピア

ノ、37小節から最後までフォルテ。

★O, Herr Jesu Christe

dochをはっきり。bleibも。sonst sein wir wieをしっかりと喋りましょう。

★Der Herr ist mein Hirte

この曲は最初から18小節1拍目までが穏やかな部分、その先から30小節の2拍目までは強い部分、その先のDein steckenから最後まではまた穏やかな部分になっています。18小節からの強い部分の文章の始まりのundはしっかり歌いましょう。

最後の部分のtroestenは、言葉の意味通り慰めを与えるように甘い雰囲気です。

★Aus der Tiefe

強弱の指示は前回と同じ。

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn

nichtにアクセント。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

122・123小節はヘミオラにします。

124小節1拍目～retは短く。

204小節最後からと、230小節最後からのアルトにもテーマが出て来ます。他のパートは気にしながら歌いましょう。

251小節はbestaendichのアクセントの位置が女声と男声パートで異なります。54小節の abtreibenはアルト・テノール・バスが先に出て、ソプラノが一拍遅れて書かれています。それぞれ意識して歌いましょう。

263小節のTodとLebenの子音をしっかりと立てましょう。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

singetの発音に注意。siが狭くならないように。語尾は曖昧に。

wunderbarlichのアクセントをもっと強調しましょう。

52小節で少しテンポを緩めて、2拍目の後一旦止めます。3拍目のIhrからあらためて始めます。Voelkerの子音を良く飛ばして下さい。bringet、heiligenの頭をもっとアクセントをつけましょう。

★Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

備考

だいぶ昔にアマデウスの団員だった原田さんと中屋さん、そして中屋さんの奥様の3人が見学に来られました。3日の演奏会は都合が悪く聴いていただけないそうです。

演奏会当日の3日は3時から発声、3時半からリハーサルですが、色々準備がありますので、早く来られる方は早めにいらして下さい。2時にはオルガンの搬入がありますので、人手が必要です。協力をお願いします。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年10月28日（水）

練習箇所

全曲

記事

今日は6時半から同仁教会礼拝堂で、第1回目のオケ合わせを行いました。

オルガンは平野智美さん、チェロは伊藤恵以子さん。

オルガンはキーボードで代用。

前半はCalvisiusとScheinを演奏曲順に。

★Das alte Jahr vergangen ist

7小節4拍目(第1アルトは3拍目)からフォルテ。13小節で一旦終わります。

14小節はメゾフォルテで始めます。20小節は各パートともdasからフォルテ。

39小節からメゾフォルテ。53小節4拍目duからピアノ。61小節bewahrenからフォルテ。

★Zion spricht

フォルテで始めます。3小節目終わりderからピアノ。5小節2拍目からフォルテ。6小節3拍目からフォルテ。8小節ピアノ。10小節からフォルテ。12小節終わりderからピアノ。14小節からフォルテ。15小節3拍目derからフォルテ。17小節からフォルテ。18小節最後からフォルテ。20小節からフォルテ。24小節終わりからピアノ。26小節からピアノ。34小節最後dasからフォルテ。38小節ueberからピアノ。39小節最後undからフォルテ。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

74～79小節までは3拍子になり、80小節から4拍子に戻ります。

90～95小節まで3拍子になり、96小節から4拍子に戻ります。

★Ich lasse dich nicht

★Was betruebst du dich, meine Seele

28小節はピアノ。29小節からフォルテ。32小節3拍目からピアノ。34小節フォルテ。35小節3拍目からピアノ。37小節から最後までフォルテ。

★O, Herr Jesu Christe

14小節3拍目bleibからフォルテ。18小節3拍目からピアノ。23小節2拍目sonstからフォルテ。26小節3拍目からピアノ。29小節からフォルテ。

休憩後はMichaelの2曲目から。1曲目は無伴奏なので最後に。

★Der Herr ist mein Hirte

穏やかに始め、16小節でフォルテ。だんだん盛り上がり、30小節から最後までは穏やかなままで終わります。38小節4拍目からリタルダンド。

★Aus der Tiefe

9小節はピアノ。13小節からクレッシェンド。だんだん盛り上がり、18小節でフォルテ。21小節3拍目からデクレッシェンド。23小節1拍目で最も弱くして、次のso du willstからフォルテ。27小節4拍目からピアノ。28小節4拍目Denn bei dirから最後までフォルテ。

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn

17小節からピアノ。21小節からピアノ。25小節終わりからピアノ。27小節終わりからフォルテ。32小節からフォルテ。47小節最後からピアノ。49小節最後からフォルテ。51小節最後からピアノ。53小節最後からピアノ。56小節最後からフォルテ。60小節最後からフォルテ。62小節最後からピアノ。63小節最後からピアノ。66小節から盛り上が

り、70小節はじめに最も大きく。3拍目からはピアノ。71小節3拍目もピアノ。74小節から盛り上がり、78小節最初でフォルテにして83小節までそのまま。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

★Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
全員出席でした！

備考

次は11月1日(日)に同仁教会3階で2回目のオケ合わせです。音出しは3時からですが、キーボードや譜面台の準備のため、早目に来られる方はよろしくお願ひします。

練習は8時前には終わる予定です。

楽譜カバーは、プログラム前半が青色、後半が薄紫色です。

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年10月21日 (水)

練習箇所

J.S.Bach:

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。

全体発声は15分ほど。

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn

meinとJesusの間に少し隙間を開けましょう。

最初のクライマックスは70小節、次は78小節に向かって盛り上がります。

segnestのseは舌が下に落ちてしまうと日本語の「ゼ」になってしまうので、もう少し上の方で喋りましょう。

84小節からの部分の下3声はリズムに注意。lasseの語尾は曖昧に軽く。

ソプラノのChoralはもう少し子音を立てましょう。undのdが無くなってしまわないように小節の最後でしっかり発音してから、次のVaterに入りましょう。

keinenの最後のnをしっかり発音しましょう。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

主要テーマを歌っているパートはしっかり、それ以外のパートは少し控えめに、軽やかに歌いましょう。

124小節からの部分は、8声のダブルコーラスがだんだん崩れて行きます。132小節で

第1バスと第2バスが一緒になり、134小節で第1・第2テノールが一緒になり、136小節で第1・第2アルトが一緒になり、138小節からは5声になります。ソプラノだけは最後まで分かれたままです。

140小節からの4声の部分も、テーマとそうでない部分とで歌いわけましょう。

★Calvisiusは3曲通しました。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：1人(テノール)

備考

来週28日は礼拝堂で第1回目のオケ合わせです。早く来られる方はキーボードを運んだり、準備をお願いします。6時半から練習開始です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年10月14日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht

Was betruerst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Tobias Michael

Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

Johann Sebastian Bach:

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn BWV Anh.159

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。
全体発声は18分。

★Calvisius3曲とSchein3曲、Michaelの1曲目Unsre Truebsalは通しました。

★Der Herr ist mein Hirte

1小節目は2拍目のHerrと4拍目のHir-に重さが来るように。
mir wird nichts mangelnのフレーズの中で小さな山を作りましょう。
Er weidet mich auf einer gruenen Aueのフレーズの中の連続した8分音符は穏やかに。
17小節は、um seines Namens willenという言葉を全パート一緒に喋っている事に意味があるので、16小節から17小節にかけて大きくします。
7～8ページのdoch keinをしっかりと喋りましょう。dをしっかりと破裂させましょう。
oはこもらせずに明るく発音しましょう。
28小節からのdenn du bist bei mirも重要な言葉なので、確信をもって強く喋りましょう。
30小節から柔らかく。38小節後半からritして穏やかに終わります。
9ページから最後まででのtroestenは膨らませましょう。

★Aus der Tiefe

1小節目は、3拍目のTie~にアクセント。Tiefeの語尾のfeは言い直さないように。
derは短過ぎないように、長目に。
9～12小節のhoereとStimmeは膨らませましょう。
13小節からはしっかりと言葉を立てて。lassは特にしっかりと歌いましょう。
OhrenのOは暗く。

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn

nichtの語尾を揃えましょう。dennはこもらせずに明るく。
10小節と14小節のソプラノの2つの4分音符は、最初の方をテヌートして歌いましょう。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
10月21日・・・平石
10月28日・・・オケ合わせのため無し
11月4日・・・練習休み
11月11日・・・未定

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年10月7日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist
Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen
Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht
Was betruerst du dich, meine Seele
O, Herr Jesu Christe

Tobias Michael:

Unser Truebsal, die zeitlich und leichte ist

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。
全体発声は20分。

★Das alte Jahr vergangen ist

2回通しました。
長い音は同じ強さのままではなく、膨らませましょう。

★Zion spricht

28～31小節のgaenzlich vergessenは、2拍目と4拍目にアクセント。
ueberのU-ウムラウトの発音に注意。語尾の-berは曖昧に。Sohnのoは狭い母音です。
40～43小節のob sie schon desselben wuerd vergessenの部分は、躍動感あふれる感じで歌いましょう。obと
schonのoを区別しましょう。前者は明るく、後者は暗く。
desselbenのsel、wuerd、vergessenのgesにアクセント。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

36・37小節のhochのoは長母音です。「ホッ」ではなく「ホー」です。4分音符は長目に。

★Ich lasse dich nicht

denn du alleinの4つ並んだ4分音符は同等にしないように。
最後の2小節半は先細りにならないように豊かな響きのままで。

★Was betruerst du dich, meine Seele

10・11小節のaufは短くならないように。
15小節テノール最後の音は柔らかいアクセントを付けて下さい。

★O, Herr Jesu Christe

14小節のOrtは明るいOです。

★Unsre Truebsal

6～9小節のdie zeitlich und leichte istの部分は軽やかに歌いましょう。
dieは短かめにして、次のzeitlichにつながらないように。
26～28小節のwas aber unsichtbar istは軽く歌いましょう。

来週はTobias MichaelのDer Herr ist mein Hirteから練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 中西

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：欠席2名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

10月14日・・・柿沼

10月21日・・・未定 10月28日・・・オケ合わせのため無し

♪ コンサートのお知らせ

今度の11日(日)は水野先生が指揮される三菱東京UFJ銀行合唱団の定期演奏会です。

中西さんと平石さんが出演します。場所は紀尾井ホールで、14時開演です。

曲はJ.S.Bachのモテット3曲(BWV228・229・225)、メンデルスゾーンの3つのモテットop.69、詩編42、op.42です。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年9月30日 (水)

練習箇所

Tobias Michael:

Aus der Tiefe

Der Herr ist mein Hirte

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht

Was betruerst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Johann Sebastian Bach:

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは大庭さん(A)でした。

全体発声は32分。

★Aus der Tiefe

hoereのO-ウムラウトは「エ」の要素が強過ぎないように、もう少し唇を突き出しましょう。

OhrenのOは狭い母音です。暗めに発音しましょう。

die Stimmeのdieは短めに。ディ～ではなく、ディくらいにしてすぐに次のStimmeに入りましょう。

18小節からのSo du willstはどれも皆4分音符ですが、ゾ～ドゥ～ヴィルストのようにダラダラと全部つなげて歌わ

ず、Soのあとに少し隙間を入れたりして、言葉を喋る時のように歌いましょう。

Soのoは狭い母音です。唇を丸く突き出して暗く発音します。

duのuが浅くならないように。

bestehenの語尾の-henが強くなるように。

最後の小節4拍目のアルトと第1テノールは、fuerchteの最初の子音をしっかりとて下さい。

★Der Herr ist mein Hirte

最初と最後は満ち足りたように豊かに歌いましょう。

Er erquicketのErとer-の発音は同じではありません。Erは狭い母音なので少しだけイに近付けますが、er-は前綴りのerなので、イの要素は絶対に入れないで下さい。

troestenのO-ウムラウトの発音に注意。唇を前に突き出して、舌は「エー」と言うつもりで発音しましょう。

★Das alte Jahr vergangen ist

★Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

★Singet dem Herrn ein neues Lied

3曲通しました。

★Ich lasse dich nicht

通しました。

★Was betruebst du dich, meine Seele

通しました。

★O, Herr Jesu Christe

最初の第1ソプラノから第2ソプラノの間は隙間を開けず、しかし重ならないように。

26小節からの部分を返しました。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

通しました。

41小節からの部分のdennは鋭くなり過ぎないように。93小節からも同じ。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 山村

欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

10月7日・・・大庭(T)

10月14日・・・柿沼

■冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年9月23日 (水・祝)

練習箇所

全曲

Johann Sebastian Bach:

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht
Was betruëbst du dich, meine Seele
O, Herr Jesu Christe

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist
Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen
Singet dem Herrn ein neues Lied

Tobias Michael:

Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist
Der Herr ist mein Hirte
Aus der Tiefe

記事

祭日のため、午後3時練習開始。
最初は発声個人レッスンで、3時から翁長さん、3時半から山村さん。
全体練習は4時から。発声は30分。
9時までの予定でしたが、早目に8時20分頃終わりました。

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn

全体に情熱をもって歌いましょう。

46小節からのich lasse dich nichtは、lasseの語尾を「セ～」と延ばさない。セは日本語のセではなく、曖昧に。
114小節のアルトは下のAの音から上のCの音への跳躍に注意。ずり上げずにCの音をイメージして上から入りましょ
う。

duとsegnestは少し隙間をあけましょう。テノールとバスも同じ。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

92小節の第1ソプラノは、最後のhilftが付け足しに聞こえないように、直前のGeistの最後の子音を早目に切り、hilft
の前に少し隙間を入れましょう。

101小節のバスはdennの前にnが入らないように。3拍目のGの音が下がり過ぎないように。

124小節からのsondern der Geist selbst vertritt uns aufs besteの部分のクサビは、軽く短めに歌いましょう。
sondernのson-、Geist、-tritt、besteのbeなどはテヌート気味に。

先生からの指摘はありませんでしたが、unaussprech-のchが聞こえないのでしっかり発音しましょう。

最後のChoral

Truebsal、ab-のbをしっかり破裂させましょう。

abtreibenのeiは二重母音です。「イ」は強くならないように軽く発音しましょう。bleibenも同じ。

★Das alte Jahr vergangen ist

1度通しました。

★Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

最初の小節は少し膨らませます。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

通しました。

★Ich lasse dich nicht

情熱的に歌いましょう。

lasseの語尾は曖昧に。どのパートも最初のIchの後のlasseで他のパートと合わせるように気を配りながら歌いましょう。

★Was betruerst du dich, meine Seele

4小節からの8分音符を急がないように。

10・11小節の8分音符を急がないように。

★O, Herr Jesu Christe

通しました。

★Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

18小節の全音符は4パート揃えて内切りにします。

★Der Herr ist mein Hirte

30小節からのDein Stecken und dein Stab troesten michの部分は穏やかに。

★Aus der Tiefe

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：1名(ソプラノ)

備考

ホームページから問い合わせがあり、小池さん(ソプラノ)が見学に来られました。発声練習に参加して下さい、練習の最後まで聴いて下さいました。またお仕事がお休みの時に見学に来て下さるとの事です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年9月16日 (水)

練習箇所

Tobias Michael:

Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

J.S.Bach

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。

全体発声は37分。

★Der Herr ist mein Hirte

伴奏付きで2度通してから、伴奏無しでもう1度通し、そのあと細かい注意がありました。

9小節のテノールは、以前から入りのタイミングと音が取れず、今日も取り出して練習しました。タイミングは合っ
て来ましたが・・・。

最初のDerのeは長母音です。少しだけイに近付けて下さい。

19～26小節に出て来るfinsternのsは「ス」です。「シュ」にならないように注意！

9ページから最後までに出て来るtroestenのO-ウムラウトの発音も注意。

最後にもう1度伴奏付きで通しましたが、9小節のテノールは先程時間を取って練習したのにまた元に戻ってしまっ
ていました。再度練習する事になり、取りあえず出来ました。次回この曲を練習する時にはまた同じ繰り返しになら
ないようにお願いします！！

★Aus der Tiefe

伴奏付きで通してから発音の注意。

rufeのuが浅くならないように。fをしっかり発音しましょう。最後のeは曖昧に。ruよりもfeの方が強くないよう
に。

rufe ichのリズムは落ち着いて。-fe ichの二つの8分音符を急がないように。

Herrとhoereが続く個所は、Heとhoeの発音をしっかり区別しないと両方とも同じ「へ」に聞こえてしまうので要注
意です。hoereのreは、hoeを発音した後に下顎を動かさず、舌の動きだけで発音します。語尾の-reが強くないよ
うに。

duのuが浅くならないように。

★Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

最初のunsreのuは浅くならないように。語尾は曖昧に。

unsreのリズムにも注意。付点が伸びないように正確に。

20・22小節の終わりは少し収めます。23小節から29小節の最初までは3パートだけなので、抑えめに歌います。29小
節のewigは少し収めて、そのあとのdennから最後までは元気に歌います。

sichtbarとunsichtbarは、次のistとつながらないように注意。～barは短めにしてistの方に重さが来るように。

wasのwの子音をしっかりと発音しましょう。

★Ich lasse dich nicht

1度通しました。

46～75小節までの2分音符2つのlasseは、語尾の～seが強過ぎたり長過ぎたりしないように注意。最初のlasをしっか
り歌った後、～seは曖昧に。

出席者

ソプラノ：辻村 中西

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(ソプラノ2名、アルト1名)

備考

ソプラノの黒田さんは、お仕事の都合で合唱活動を続けるのが難しくなり、退団されました。本番を前にして本当に
残念がっていらっしゃいました。

発声個人レッスンの予定

9月23日(祭・水)・・・3時～ 翁長、3時半～ 山村

来週は祭日のため、午後3時から4時まで発声個人レッスン2人。4時から全体発声と練習に入り、8時過ぎに終わる予定です。必要な方は各自軽食をご用意下さい。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年9月9日 (水)

練習箇所

Johann Hermann Schein:

Was betruerst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。

全体発声は30分。

★Was betruerst du dich, meine Seele

16小節後半から23小節までを段落ごとに区切ってゆっくり練習しました。

Angesichtesを二つに区切るとAn・gesichtesです。Ange・sichtesではないので、geの発音が鼻濁音になる事はありません！ 今日アルトが指摘されて練習しましたが、他のパートにも言える事です。siはカタカナで書くと「ズィ」です。決して「ジ」にならないように。口は横ではなく、縦に開けるようにしましょう。

バスはE→Fの半音が上がりきらない事が多いので注意しましょう(2小節目から3小節目に入るところと25小節から26小節に入るところ。4小節。31・33小節)。

★O, Herr Jesu Christe

Jesuのsuを発音する時は、Jeのままの口では浅くなってしまうので、Jeを言ったあと、口を縦に開けるようにしましょう。

dochのchをしっかりと発音してからnichtに入ります。nは十分粘ってからiに入ります。

bleibはbとlの間に母音が入らないように注意。

153ページ最後のdiesemのmをしっかりと発音してから、少し隙間を入れて次のOrtに入りましょう。mとOが?がらないように注意。Ortの入りは全パート揃うように。

Ortの全音符は短めにします。付点2分音符と4分休符にして、その4分休符でtを入れます。

28小節のerhaltのerは前綴りのerです。絶対に長母音にはしないで下さい！ 何度も指摘されていますが、未だにイに近いエになっている人がいます！

28小節最後のEndの2分音符は短めにします。4分音符と4分休符くらいに。Endは強調しないで、フレーズの終わりなのでおさめて下さい。次のsonstはしっかり入って下さい。

来週はTobias Michaelを中心に練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(ソプラノ2名、アルト1名)

備考

発声個人レッスンの予定

9月16日(水)・・・大久保

9月23日(祭・水)・・・翁長(3時)、山村(3時半)

23日は祭日のため、練習は午後3時からですが、発声個人レッスンが二人入りますので、全体練習は4時からになります。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年9月2日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius:

Zion spricht: Der hat mich verlassen

Das alte Jahr vergangen ist

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht

Was betruerst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

記事

発声個人レッスンは辻村でした。

全体発声は32分。

★Zion spricht

vergessenのgeにもう少しアクセントを付けて、語尾は曖昧に。

nimmermehrのnは直前のdeinのnと重なってしまいがちなので、きちんと言い直しましょう

★Das alte Jahr vergangen ist

Jesuのuが浅くならないように。

bewahretのbeは曖昧に。wを発音する時にピッチが乱れないように。語尾のretのeは曖昧に。

Gfahrは、Gのあとに母音が入らないように。

vielのvをしっかり前に出しましょう。

desのsが聞こえにくいので、しっかり発音しましょう。hoechstenは子音が4つ続きますが、

しっかり発音しましょう。O-ウムラウトを発音したあとすぐに口を横に開きchsを発音します。語尾は曖昧に。

ThronのThrをしっかり前に出しましょう。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

wunderbarlichのuは浅くならないように。wを発音する時から次のuの口の形を準備しておきましょう。

74～81小節の間にSchmuckとheiligenという言葉が毎小節歌われます。Chor1がSchmuckと歌っている時はChor2がheiligenと歌い、Chor2がSchmuckと歌っている時はChor2がheiligenと歌います。Schmuckを歌う方は埋もれてしまいがちなので、子音のSchmをしっかり前に出して歌いましょう。

★Ich lasse dich nicht

lasseのlをしっかり準備して発音しましょう。語尾は曖昧に。

duは「デュー」にならないように。

Herrのeは日本語の明るい「エ」に近いですが、決して長母音にはならないように。

バスはF→Gisの音程に注意。

★Was betreibst du dich, meine Seele

Seeleの二つの二分音符は、最初のSeeをもう少し膨らませましょう。

Harreのrrはしっかり巻き舌にしましょう。aufの二重母音にも注意。

バスはE→Fの音程に注意。

最後のページの付点音符はもう少し鋭くしましょう。

★O, Herr Jesu Christe

Oは狭い母音です。

erhaltのerは前綴りのerです！ 決して長母音にしないで下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西

欠席：3人(ソプラノ2名、バス1名)

備考

発声個人レッスンの予定

9月9日(水)・・・小沢

※ 11月3日の本番のチラシとチケットが配布されました。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年8月26日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius:

Singet dem Herrn ein neues Lied

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Das alte Jahr vergangen ist

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。

全体発声は35分。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

Singetの発音に注意。最初のSを前に出しましょう。Siは口を横ではなく、縦に開きましょう。高い響きで。ngは鼻濁音です。Herrn、Herrenのeは開いたエです。長母音のように狭くならないように注意。

alle、allenの二つのl(エル)は、舌を上前歯の裏に付けてしっかり発音しましょう。

WeltのWを前に出しましょう。

erzaehletのerは長母音ではなく、開いた母音です。unterの語尾は曖昧に。日本語の「ター」にならないように注意。

VoelkernのVを前に出しましょう。seineのsも同様に。seineの語尾は曖昧に。WunderのWを前に。語尾のderは曖昧に。日本語の「ダー」にならないように。

grossのoは長母音で狭いoです。wunderbarlichのwを前に出し、derは曖昧に。

ueberのueがきつくならないように、もう少し柔らかく。今は「イ」に近付き過ぎているようです。Goetterの語尾を曖昧に。

bringetのngは鼻濁音です。

BetetのBeは狭い母音です。口を開け過ぎないように。

★Zion spricht

verlassen、vergessenの語尾は曖昧にしなくてはなりません、それによってピッチが緩まないように、上に保ちましょう。カデンツがきれいに決まるように注意して歌いましょう。

ueberのUーウムラウトが「イ」になり過ぎないように。語尾のberは日本語の「バー」にならないように曖昧に。

★Das alte Jahr vergangen ist

1度通しました。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ・アルト各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

9月2日・・・辻村

以降未定。希望者は辻村までお願いします。

♪ 演奏会のお知らせ

第64回神戸愉樹美門下生ヴィオラ・ダ・ガンバ発表会

9月6日(日) 13:00開演(12:45開場) 近江楽堂

入場無料

ソプラノの名阪さんがフラウト・トラヴェルソで共演します。(曲目：バッハのトリオソナタ (BWV1039))

出演時間は、14:30前後とのことです。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年8月19日(水)

練習箇所

練習曲

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht
Was betruerst du dich, meine Seele
O, Herr Jesu Christe

Johann Sebastian Bach:

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンはありませんでした。全体発声は30分。

Das alte Jahr vergangen ist

alteの語尾が長くならないように。wir、bewahret、ewigen、wollst、bewahren等のwを前に出しましょう。

Zion spricht

通しました。

Singet dem Herrn

singetのsを前に出しましょう。siはカタカナで書くとズィです。ツイヤジに聞こえてしまう事があるので気を付けましょう。

Ich lasse dich nicht

Was betruerst du dich

O, Herr Jesu Christe

3曲通しました。

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

最後のChoralだけ練習しました。基本的に穏やかな雰囲気です。

Brunstの最初の子音Brを前に出しましょう。nの時間を長く。246小節4拍目のハーモニーをきれいに。TrostのTrを前に出しましょう。

deinemのmをちゃんと発音しましょう。Dienstのnを長目に。

ringenのiはきつくなならないように柔らかく。

durchやHallelujaのuが浅くならないように。durchのduはデュにならないように。

段落ごとの最後のハーモニーが綺麗に決まるように注意して歌いましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

8月26日・・・堀江

9月2日・・・辻村

2015年8月12日 (水)

練習箇所

全曲歌いました。

記事

練習場所は池袋の豊島区勤労福祉会館5階音楽室でした。
発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は35分。

★Tobias Michael: Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

長い音は膨らみを付けましょう。

24~26小節を第1ソプラノ・第2ソプラノ・テノールがdenn was sichtbar ist, das ist zeitlich(訳：なぜなら、見えるもの、それははかない)と歌うのに対し、その後から29小節前半まではアルト・テノール・バスがwas aber unsichtbar ist, das ist ewig(訳：しかし見えないもの、それは永遠だからである)と歌います。これははかなさを高音で、永遠を低音の充実した響きでという具合に、音響的な面で内容を表現しているのではないかという先生の解説がありました。

★Tobias Michael: Der Herr ist mein Hirte

9小節のテノールの入りの音が安定しませんが、1小節前に第1ソプラノが全く同じ旋律を歌っていますし、その最後(つまりテノールが出る直前)のA音を聴いて入ると楽に入れると思います。9小節後半の4分音符は長目に歌いましょう。特にmichとfri~。

11・12小節のEr erquicket meine Seeleの部分のErは長母音なので少しイに近付けて強く、erquicketのerは前綴りのerなので軽く、そして~qui~の部分に重さが来るように歌いましょう。

★Tobias Michael: Aus der Tiefe

werは長母音なので、もう少しイの要素を多めにお願いします。

★Johann Hermann Schein: Ich lasse dich nicht

1回通しました。

★Johann Hermann Schein: Was betruerst du dich, meine Seele

15小節最後のdankenは大事な言葉なので、ここで一旦取めます。そのためdan~に重さが来るように長目に歌います。特にテノール最後のGisは4分音符ではありますが、長目に歌いましょう。

16小節後半から始まるdass er meines Angesichtes Hilfe und mein Gott istの部分は、Hilfeを頂点にして大きなフレーズでまとめて歌いましょう。今はフレーズが細かく分かれ過ぎているようです。

★Johann Hermann Schein: O, Herr Jesu Christe

28小節最後のEndは短めにして取め、次のsonstをはっきり歌いましょう。

★Johann Sebastian Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn BWV Anh.159

IchのIはきつくならないように。chのあとに母音が入らないように。

lasseのseは語尾なので強くならないように。

86小節からのソプラノのコラールは、シラブルが二つ以上の言葉は、膨らみを付けます。

97小節はストレッタになっているので、バス→テノール→アルトの順に畳み掛けるように出ます。言葉もリズムもはっきりと。次の小節からはまた滑らかに。

segnestのseは長母音なので、もう少しイの要素を多くして下さい。

105小節の最後の2部音符は少し膨らませます。

114小節のduとsegnestの間は少し隙間をあけ、se-の音程を正確に歌いましょう。
アルトのduは直前の音と1オクターブ以上離れています、ずり上げずに思い切って出しましょう。
115小節は3拍目のアルトのDes、テノールのC、バスのBの音のぶつかりが一番重要な部分です。

★Johann Sebastian Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf BWV226

一回通しました。

★Sethus Calvisius:

Singet dem Herrn ein neues Lied

Zion spricht:Der Herr hat mich verlassen

Das alte Jahr vergangen ist

3曲通しました。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

8月19日・・・堀江

8月26日・・・

9月2日・・・辻村

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年8月5日 (水)

練習箇所

・以下の曲を通して歌いました。

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht:Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht

Was betruerst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Tobias Michael:

Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

・細かく練習した曲

Johann Sebastian Bach:

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは黒田さんでした。全体発声は21分。

Tobias Michael:

Aus der Tiefe

8小節テノール最後の休符は無くして、前の音を他のパートと同じ全音符にします。

Johann Sebastian Bach:

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

最初はフォルテで歌い始め、8小節3拍目からピアノにします。それ以降も楽譜に書かれた強弱記号を活かします。

16小節3拍目からの第1アルト、18小節3拍目からの第2アルトはメロディーなのでしっかり歌いましょう。

バスは59・63・67小節の入りの音を正確にお願いします。

142～145小節は、どのパートも一つ一つの音を細心の注意を払って歌いましょう。

191小節のバスの音程に注意。入りはアルトから取りやすいでしょう。191小節最後のEはフラットが付きやすいので注意しましょう。

今日はIch lasse dich nicht, du segnest mich denn BWV Anh.159は歌えませんでした。

来週はこのBWV Anh.159を中心に練習します。そしてBWV226のコラールと、その前のフーガも練習します。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：翁長

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(アルト1名・テノール2名)

備考

発声個人レッスンの予定

8月12日・・・柿沼

8月19日・・・堀江

※来週の練習場所は池袋の豊島区勤労福祉会館です！

♪ 演奏会のお知らせ

三菱東京UFJ銀行合唱団第5回定期演奏会

10月11日(日) 14時開演 紀尾井ホール

曲はバッハのモテットBWV228・229・225と、メンデルスゾーンの3つのモテットop.69、詩篇42です。指揮は水野先生で、ソプラノの中西さんと平石さんが出演します。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年7月29日 (水)

練習箇所

全曲

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist(1回通し)
Zion spricht:Der Herr hat mich verlassen(1回通し)
Singet dem Herrn ein neues Lied(2回通し)

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht(1回通し)
Was betruerst du dich, meine Seele(1回通し)
O, Herr Jesu Christe(1回通し)

Johann Sebastian Bach:

Ich lasse dich nicht, du segnest mich den BWV Anh.159(1回通し)
Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226(1回通し)

Tobias Michael:

Der Herr ist mein Hirte
Aus der Tiefe(1回通し)
Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist(1回通し)

記事

今日は思いがけず礼拝堂での練習でした。2週間前の15日に続き、本番に備えての良い練習が出来ました。

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は25分。

内容

今日はMichaelのDer Herr ist mein Hirteを細かく練習しました。

★この曲はソプラノ1とテノールがオクターブでカノン、ソプラノ2とアルトが4度違いでカノンになっていて、それは詩篇23の内容をカノンで表しているとの事です。

Herrをしっかり歌いましょう。次のistは急がず4分音符をしっかり保ちましょう。

mangelnをもう少し膨らませましょう。

weidet mich auf einer gruenenの8分音符を慌てないように。強拍に重さが来るように抑揚を付けて歌いましょう。

11~13小節に出て来るEr erquicketのErとerの発音を区別しましょう。Erは長母音にして下さい。erquicketのer~は前綴りなので長母音にしないように。

erquicketは、quiに重さがくるようにしましょう。

14小節のアルトはH→Cの音程に注意しましょう。Cが低くなっている事が多いです。

次の小節の最初のCも同じです。

19~27小節に出て来るTalのTを鋭く。子音を良く飛ばして。

21~28小節に出て来るdochのoは明るく。

28~35小節に出て来るdennをしっかり。

30~最後のtroestenは膨らませましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 大庭 翁長

バス：柿沼 中西

欠席：1名(バス)

備考

発声個人レッスンの予定

8月5日・・・黒田

8月12日・・・柿沼

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年7月22日（水）

練習箇所

一応全曲歌いました。

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。

全体発声は短めで19分。

J.S.Bach:

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

2回通しました。

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

1回通しました。

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist

1回通しました。

Zion spricht:Der Herr hat mich verlassen

1回通しました。

Singet dem Herrn ein neues Lied

2回通しました。

今日はシャインとミハエルを中心に練習しました。

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht

2回通しました。

Was betruebst du dich, meine Seele

WasのWをもっと出しましょう。

BetruebstのU-ウムラウトを正確に。もう少しイの要素を入れて下さい。

ウムラウト無しUのUになってしまっている人がいます！

SeeleのSeeの母音も注意。ズィーレになっている人が多いです。

もう少しエの要素を増やして下さい。

バスの2小節目の終わりから3小節目に入る音程に注意。

EからFに上がり切らないため、何度も練習しました。

7～9小節のアルトの変化記号が正確ではありません！

バスへの注意が多く、ほったらかし状態になっていますが、要注意です！

7小節のGに#が付いたり、8小節と9小節のFに#が付いたり、歌う度に色々で安定しません！

O, Herr Jesu Christe

Tobias Michael:

Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

1回通しました。

Der Herr ist mein Hirte

1回通しました。

Aus der Tiefe

13～17小節のStimmeの二つの四分音符は、二つ目が強くならないように。

19・20・24・25小節の~rechnenも同様。

今日はあまり時間をとれなかったので、Tobias Michaelは来週またしっかり練習します。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 中西

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

7月29日・・・大庭(A)

 [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年7月15日 (水)

練習箇所

最初は、今日細かく練習する予定のScheinを除いた曲をプログラム順に通しました。

Sethus Calvisius:

Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht:Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Tobias Michael:

Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

J.S.Bach:

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

休憩後にScheinを練習しました。

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht

Was betruerst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

記事

今日は会場側の都合により、いつもの2階音楽室ではなく、礼拝堂での練習でした。ここで行う11月3日の本番に備えての良い練習になりました。

発声個人レッスンは大久保さんでした。全体発声は34分。

Schein

★Ich lasse dich nicht

言葉を立てて歌いましょう。lasseのlをはじき出すように。

nichtの二分音符はどのパートも内切りの約束になっています。まだ休符にかかってしまっている人がいますので注意しましょう。

duと segnestはつなげて歌わず、duのあとに少し隙間をあけてseの子音を前に出して歌いましょう。segnestのseは長母音なので、もう少し狭くして下さい。付点4分音符につながる8分音符に付いたgの入れ方にも注意！

17小節後半から37小節の部分のDenn du alleinは、Dennのあと少し隙間をあけてからduに行きましょう。duを強調します。

hilfestの真ん中の子音-lf-もしっかり発音しましょう。

26小節後半からの部分は、バスに始まり各パートに定旋律のように出て来る下降音型をしっかりと歌いましょう。最初のdass、sicherのsi、wohneのwoに重さを置くように。

wohneのwをもっと前に出しましょう。

最後は長目にするので、息に余裕をもたせて歌いましょう。

★Was betruerst du dich, meine Seele

betruerstの最後の3つの子音bstをしっかりと発音してから次のduに入りましょう。

4～9小節のund bist so unruhigは、soとun～をつなげないように。unruhigのunを強調。4～6小節へ向けて音が上がって行くので、盛り上がるように歌いましょう。

10・11小節のHarre auf Gottは膨らませます。29・30小節も同様に。

次のdennをしっかりと歌ってから少し隙間をあけます。ihmとdan～に抑揚を付けます。

16小節後半のdassの入りは慌てて突っ込まないように。指揮を見ましょう。

★O, Herr Jesu Christe

時間がなく、通すだけで終わりました。来週また練習する事になりました。

来週しっかり練習する曲はScheinのO, Herr Jesu Christeと、Michaelの3曲の計4曲の予定です。練習の最初に他の曲を通します。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：2人(テノール・バス 各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
7月22日(水)・・・大庭(テノール)
29日(水)・・・大庭(アルト)

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年7月8日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius

Das alte Jahr vergangen ist
Zion spricht:Der Herr hat mich verlassen
Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein

Ich lasse dich nicht
Was betruerst du dich, meine Seele
O, Herr Jesu Christe

Tobias Michael

Unser Truebsal, die zeitlich und leichte ist
Der Herr ist mein Hirte
Aus der Tiefe

Johann Sebastian Bach

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159
Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは大友さんでした。
全体発声は長目の40分。

先週は練習がお休みで、今日は2週間振りなので、久し振りにプログラム順に全曲歌う事にしました。最初にCalvisiusの3曲を細かく練習。3曲とも、最初は先生が和音を付けてキーボードを弾きながら通し、2回目はアカペラで通したあとに発音やハーモニー等の注意すべき個所を部分練習しました。残りの曲は全曲1度ずつ通して歌いました。

★Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

49小節4拍目から53小節3拍目までの第1アルトと第2ソプラノの掛け合いが重要との指摘があり、そこだけ抜き出して練習しました。

★Calvisius: Zion spricht

vergessenのverのrは巻かないで下さい。verlassenも同じ。「フェル」ではなく、「フェア」にして下さい。

36～39小節のueber den Sohnは、ueberとden Sohnをほんの少し分けて発音しましょう。ueとberの部分の二つ並んだ四分音符は同等ではありません。ueはアクセントを付けて長目に、語尾のberは短く曖昧な「バー」。にして下さい。くれぐれも「ベル」とは言わないようにお願いします。

フレーズの終わりの和音がきれいに決まるように気を付けましょう。36小節の頭は、A#を持っている第2ソプラノと第2テノールが良く合うように。他にも38小節の頭や39小節の4拍目等も和音をきれいに響かせましょう。

どのパートも、A#を決めましょう。

★Calvisius:Singet dem Herren ein neues Lied

棒歌いにならないように、長い音は膨らませ、フレーズを考えながら歌いましょう。

singetのiはきつくならないように、柔らかく発音しましょう。

6小節4拍目の第1アルトの入りを、もう少し目立たせましょう。

18～21小節に出て来るerzaehletの前綴りのerのrは巻かないで下さい。「エル」ではなく「エア」です。

31～35に出て来るdennをはっきり歌いましょう。

38～47小節に出て来るwunderbarlichの～derは日本語の「ダー」にならないように、曖昧に歌いましょう。最初のwuの子音wを前に出し、uの母音を響かせて、言葉を強調させて下さい。

最後のWeltの子音Wを前に出してしっかり発音しましょう。

※来週からは、人数が集まるまでは通して行き、人数が揃った後半は一人の作曲家にしぼって細かい練習をする事になりました。今日はCalvisiusを中心に練習したので、来週はScheinをしっかり練習します。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 中西

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：小沢 翁長

バス：柿沼 中西

欠席：5人(ソプラノ2名・アルト1名・テノール1名・バス1名)

備考

来週7月15日の発声個人レッスンは大久保さん、22日以降は未定です。

※ 来週は礼拝堂での練習になります。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年6月24日（水）

練習箇所

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

記事

発声個人レッスンは辻村でした。全体発声は長目の40分。

内容

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf 第2バスは59・63・67小節の入りのGの音に入れない事が多いので、他のパートから取れるように練習しておいて下さい！

68～126小節の男声パートを、テンポを落として何度も繰り返し練習しました。

第2バスの101小節の入りが不安げです。B→G→Eの音程が不安定です。

124小節からの部分は拍子が変わるので、指揮をよく見ましょう。sondernのアクセントは最初のso~です。語尾のdernにアクセントが付かないように。sondernのあとはderの前に少し隙間を入れて下さい。全部同じようにつなげて歌わず、sondern / der Geist selbst / vertritt uns / aufs besteのようなグループ分けをして歌って下さい。

第2バスの138小節最後から2番目の音はHです。ナチュラルを忘れないで下さい。

146小節からのAlla breveの部分

バスの197小節最後のAsと、216小節2番目のAsの音は、フラットが取れてしまう事が多いので要注意です！

テノールの234小節最初のerは高いGの音が来ていますが、鋭くならないように柔らかく発音して下さい。

最後のコーラル

最初のDuの前にnを入れないで下さい。

バスの245小節のEs→F→Gの音の幅が狭くならないように。特にFは高めに。

246小節のBrunstは、最初と最後の子音をちゃんと発音して下さい。前のheiligeの最後のgeを延ばし過ぎると、次の言葉の子音Br~が言えなくなります。~geを短めにしてすぐにBrを言ってしまうと良いでしょう。真ん中のnもしっかり発音しましょう。そうすると次のstが言いやすくなります。

251小節のバスの2拍目裏のEの音に注意。バスは8分音符を一つ一つ歌わないように。Bleibenの最初の子音を前に出しましょう。~benは語尾なので曖昧に発音しますが、アルトは意識し過ぎて呑み込んでしまい、低くなりがちです。265小節も同じです。

253小節最後のバスのAsの音に注意。フラットが取れがちです！

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn

4声の部分のdichの最後のchをちゃんと発音しましょう。特に男声！

70小節の最初の長調の和音をよく響かせましょう。特に第3音を持っている第1テノールと第2アルトは注意。dennのeは暗くならないように、明るく発音しましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

7月8日・・・大友

15日・・・大久保

※ 来週7月1日(水)は、練習はありません。

渋谷混声合唱団のオケ合わせがあり、水野先生とバス2名がそちらに参加しなければならず、他にも欠席予定者があり、練習を休みにする事にしました。

♪演奏会のお知らせ♪

渋谷混声合唱団第21回定期演奏会

日時：7月4日(土) 午後2時開演(1時15分開場)

場所：東京オペラシテイ コンサートホール

曲目

W.A.MOZART: Requiem, KV626(LEVIN EDITION)

Misericordias Domini, KV222

Kyrie in d, KV341

Ave verum corpus, KV618

指揮:水野克彦

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年6月17日 (水)

練習箇所

(全曲)

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein:

Ich lasse dich nicht

Was betruerst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Tobias Michael:

Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

Johann Sebastian Bach:

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは黒田さんでした。

プログラムの最初から1回ずつ通しました。

本番同様、Schein の曲の後少し休憩を取り、後半の曲も1回ずつ通し。

Bach の BWV226 は先週歌わなかったこともあり、通した後部分的に練習しました。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

1小節～'Geist' の16分音符はレガートの中にも粒を立てて歌います。

1つ1つの音がはっきり聴こえるように歌いましょう。

41小節～123小節まで、1コアと2コアが交互に出るところのハーモニーがもう少し決まるように意識しましょう。

特に第2バスの59小節のGと93小節のFisがまだ取り辛いので、上手く他パートから音を取れるよう練習しましょう。

122～123小節はヘミオラになっています。124小節1拍目で収めるように歌います。少しテンポが遅くなる可能性もあるので良く指揮を見て歌いましょう。

また、124小節2拍目から新しい音楽になるとテンポが揺れますので、特に1コアの方は要注意です。

124小節の 'sondern' の 'o' は明るい発音をお願いします。長母音の暗い 'o' にならないようにしてください。

146小節のバスの出だし。先生の合図で上手く出られるよう練習してください。

Choralはハーモニーが崩れないように注意しましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 中西 平石
アルト：大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：4人(ソプラノ1人、アルト2人、バス1人)

備考

発声個人レッスンの予定

6月24日・・・辻村

7月8日・・・大友

7月15日・・・大久保

♪演奏会のお知らせ♪

明治学院大学グリークラブ2015年前期演奏会

日時：6月21日(日)15:00開場 15:30開演

曲目：木下牧子「春に」他 J.S.BACH「クリスマスオラトリオ」から抜粋

場所：明治学院大学白金校舎アートホール

入場料：無料

指揮：水野克彦

ピアノ：山本由香子

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年6月10日（水）

練習箇所

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein: Ich lasse dich nicht

Was betruebst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Tobias Michael: Unser Truebsal, die zeitlich und leichte ist

Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

J.S.Bach: Ich lasse dich nicht

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。全体発声は21分。

★Calvisius

3曲とも2回ずつ通しました。最初は非常にゆっくり、次にテンポを速くして歌いました。

★Schein

3曲通しました。

★Michael

3曲通しました。

★Bach

Ich lasse dich nicht

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西

アルト：大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ・アルト各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

6月17日・・・黒田

6月24日・・・辻村

7月8日・・・大友

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年6月3日（水）

練習箇所

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein: Ich lasse dich nicht

Was betruebst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Johann Sebastian Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は19分。

★Das alte Jahr vergangen ist

54小節のwollstは内切りです。63小節のChor1、64小節のChor2のzeitも内切りです。

★Zion spricht

22・28小節のKindleinsのdの発音はtです。

★Singet dem Herrn

singetのnを早く言い過ぎないようにしましょう。sin～getではなく、si～ngetです。

18～20小節のerzaehletのerは長母音ではありません。

31小節のWunderの語尾はアクセントが付かないように、曖昧に歌いましょう。

38～48小節のwunderbarlichの語尾は歌い過ぎてlichにアクセントが付かないように。

アクセントは最初のWuです。～derは日本語のダーにならないように曖昧に歌いましょう。

56～65小節に何度も出て来るherは長母音です。もう少しイの要素を多くして下さい。

70・71・86・87小節のbetetのbeは長母音です。もう少しイの要素を多くして下さい。

★Ich lasse dich nicht(Schein)

nichtのtは休符にかからないようにします。

5小節のテノールのdichはCisです。＃が取れてしまわないように注意しましょう。

34小節のバスの4番目のGの音はGです。上ずって＃が付いたように聞こえる事があるので注意しましょう。19・

22・29小節と混同しないようにお願いします。

★Was betruerst du dich, meine Seele

最初のWの前にnを付けないようにお願いします。

Seeleは長母音ですが、今はイの要素が強過ぎてSieleに聞こえます。SeeleとSieleでは意味が全く違ってしまいます！もう少しエの要素を増やして下さい。

unruhigのruが浅くならないようにお願いします。

8・9小節のアルトは変化記号が曖昧になっています。8小節の4番目の音、9小節の3番目の音はFです。＃が付いてしまう事が多いので注意しましょう。

25～26、31、32～33小節のバスのE→Fの半音の幅が狭過ぎないように。

★O, Herr Jesu Christe

11・12・15・16小節のWortのoは長母音のように暗くなり過ぎています。このオは明るいオです！14・18小節のOrtも同じです。ちなみに最初のO(=Oh)は長母音で暗いオーです。

13・17・22・28小節のdiesemのsemは語尾なので、はっきり言い過ぎないように曖昧に。

18・20・26・27小節のheilgeの語尾が鼻濁音にならないようにお願いします。

21・28小節のerhaltのerは長母音にしないで下さい。

27小節の最初のSakramentの語尾は鋭く切れすぎているので、もう少し軽く。ment!ではなく、me-ntのような具合に。次の小節の最初も同様に。

28小節の最後のEndのあとは急いで次の小節のsonstに入らず、コンマを活かして、一旦切ってから新しく入ります。

★Ich lasse dich nicht(Bach)

一度通しました。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

6月10日・・・堀江

6月17日・・・黒田

6月24日・・・辻村

7月8日・・・大友

冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年5月27日（水）

練習箇所

Johann Hermann Schein: Ich lasse dich nicht

Was betruerst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Johann Sebastian Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。全体発声は25分。

★Scheinは3曲通して歌いました。

★J.S.Bach: Ich lasse dich nicht

ichの発音に注意。chの後に母音が入らないようにお願いします！ dich、michも同様です。

segnestのseは長母音です。今は日本語のゼに聞こえるので、もう少しイの要素を多くして下さい。gは濁ります。

62・63・71小節のsegnestのnestはダメ押しをしないようにお願いします。アクセントはseにあり、nestにはありません！

duのウの発音が浅くならないように注意。

※ ScheinのIch lasse dich nichtも、発音に関しては同様の注意をお願いします！

★Der Geist hilft

41小節から練習しました。

第2バスは入りの音が不正確な事が多いので、どこかのパートからヒントを見つけて自信をもって入れるようにしましょう。例えば45小節のBの音は直前の第1ソプラノから、48小節のGは前の小節の第1バスから、59小節のGはその前の第1バスから、67小節のGは直前の第1ソプラノから、101小節のBは直前の第1ソプラノから・・・。

125小節のvertrittという言葉は、テノールだけ3つの音に分かれていて、音も跳んでいるのでverとtrittが別々になってしまいがちです。一つの言葉になるように滑らかに歌って下さい。その次のunsと aufsの語尾のsもしっかり発音して下さい。

146小節のバスの出だしのDerがバラバラなので揃えましょう。

169～174小節間でソプラノとアルトに交互に出て来る長い音符は、それぞれ膨らみを付けましょう。

Choral

各フレーズの終わりのハーモニーが崩れないように注意しましょう。

来週はCalvisiusから練習します。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：3人(ソプラノ1人、アルト2人)

備考

発声個人レッスンの予定
6月3日・・・柿沼
6月10日・・・堀江
17日・・・
24日・・・辻村

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年5月20日（水）

練習箇所

Tobias Michael: Aus der Tiefe
Der Herr ist mein Hirte
Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist
Johann Sebastian Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159
Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。
全体発声は23分。

内容

- ★Aus der Tiefe・・・3度通しました。
- ★Der Herr ist mein Hirte・・・2度通しました。
- ★Unsre Truebsal・・・2度通しました。

★Ich lasse dich nicht

2度通してから部分練習をしました。45～55小節のバス、56～64小節のテノールとバス。
86小節からのバスは、休符のあとや跳躍した音が正確ではない事が多いので気を付けましょう。86小節の入りのCの音、87小節3拍目裏のGの音、89小節の最初のEsの音等。
89小節は、最初のEsに続くE、Dの音程にも注意しましょう。
102小節最後のFの音から103小節1拍目のHの音程も注意。下に行き過ぎないように。
最後の下3声のdennは小さくしないでしっかり歌いましょう。

★Der Geist hilft

最初に244小節まで通してから、部分練習しました。40～69小節のバス。
バスは休符が続いたあとの出の音を正確に歌いましょう。

曲の出だしのDerは、母音を短めにして軽く歌いましょう
124小節の4拍子の始まりはしっかり歌いましょう。

146～244小節の4声の部分のバスは、勝手にフラットを取ったり付けたりしないようにお願いします！ 159小節の最後はBです。197小節最後の音はAsです！ 216小節2番目の音もAsです！ 225・233小節のAが時々Asになっています。

235小節1拍目はEsではありません！
Choralの253小節最後はAsです！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：1人(バス)

備考

発声個人レッスンの予定
5月27日・・・小沢
6月3日・・・大久保
6月10日・・・柿沼

■冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年5月13日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist
Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen
Singet dem Herrn ein neues Lied
Johann Hermann Schein: Ich lasse dich nicht
Was betruebst du dich, meine Seele
O, Herr Jesu Christe
Tobias Michael: Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist
Der Herr ist mein Hirte
Aus der Tiefe
Johann Sebastian Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声はいつもよりだいぶ短く、19分ほどで終わりました。

★Das alte Jahr

言葉のアクセントの付いたシラブルや長い音符を膨らませましょう。
2度通しました。

★Zion spricht
2度通しました。

★Singet dem Herrn ein neues Lied
69小節のMachtは外切りです。次の小節の休符の入りでtを言います。
2度通しました。

★Ich lasse dich nicht
2度通しました。

★Was betruebst du dich, meine Seele
Wasの前にnを入れないようにお願いします。
Seeleの語尾はアクセントが付かないように取めて下さい(2・3・25・26小節)。
そのためにも言葉のアクセントがあるSeeをしっかり歌いましょう。

★O, Herr Jesu Christe
★Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist
★Der Herr ist mein Hirte
それぞれ1度ずつ通しました。

★Aus der Tiefe
2度通した後、9～22小節を練習しました。

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn
1度通した後、35～83小節を練習しました。
第1 Chorと第2 Chorが交互に歌っているので、それぞれの入りと終わりの音を正確に歌いましょう。
84小節からの部分は、du segnest mich dennの部分を滑らかに歌いましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村

備考

発声個人レッスンの予定
5月20日・・・大庭(テノール)
27日・・・小沢
6月3日・・・大久保
10日・・・柿沼

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年5月6日 (水・祝)

練習箇所

(全曲)

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

Tobias Michael: Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

Johann Hermann Schein: Ich lasse dich nicht

Was betruebst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

記事

先週に続き今日も祭日のため、午後3時から発声個人レッスン2人(中西夫妻)。
全体発声は19分ほど。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

一度通してから、フーガとコラールを練習しました。

バスは音程を正確にお願いします！ フラットなのにナチュラルにしたり、ナチュラルが付いているのにフラットにしたり、色々です。

(159小節最後のB、161小節最後のF~162小節最初のDの音程、191小節最後のE、197小節最後のAs、209小節最初のE、216小節2番目のAs、235小節最初のE、236小節2番目のEs、コラールの251小節2拍目裏のE、253小節最後のAs等・・・)

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn

84小節から練習したあと、前半も練習しました。

dichのchをちゃんと発音しましょう。diで終わってしまっている事が多いです。

バスは休符のあとの出の音が決まらない事が多いので慎重に出て下さい！(87小節の3拍目裏のG、111小節最初のG等)

音程が跳んでいる箇所も注意！(95小節1拍目裏のC、111小節3拍目裏のG等)

★Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

★Der Herr ist mein Hirte

★Aus der Tiefe

3曲続けて通しました。

★Ich lasse dich nicht

★Was betruebst du dich, meine Seele

★O, Herr Jesu Christe

3曲続けて通しました。

★Das alte Jahr vergangen ist

★Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

★Singet dem Herrn ein neues Lied

3曲続けて通しました。

短い休憩を2回取り、8時頃まで練習しました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定

5月13日・・・大庭(T)

20日・・・大庭(A)

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年4月29日 (水・祝)

練習箇所

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

Johann Hermann Schein: Ich lasse dich nicht

Was betruebst du dich, meine Seele

O, Herr Jesu Christe

Tobias Michael: Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

Der Herr ist mein Hirte

Aus der Tiefe

Johann Sebastian Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159

Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは3時から翁長さん、3時半から黒田さんでした。

全体発声は4時過ぎから25分。

軽食タイムを入れ、8時半頃まで練習しました。

★Das alte Jahr vergangen ist

★Zion spricht

それぞれ一度ずつ通しました。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

出だしのよう、Singet dem Herrn, singet dem Herrnと2度同じ文章を繰り返している時は、Singet dem Herrnという文章を強調したいので、2回目のsingetもはっきり歌いましょう。2回ともSingetとHerrnをテヌートして、残りの4分音符 ~get demはアクセントが付かないように軽く歌いましょう。

erzaehletのerは前綴りのerなので、長母音にしないで下さい。

★Ich lasse dich nicht(Schein)

★Was betruebst du dich meine Seele

16～23小節のdass er meines Angesichtes Hilfe und mein Gott istというフレーズは、8分音符を一つ一つ強調せずに4つずつまとめて、それぞれの最初の8分音符をテヌートします。

バスはE→Fの音程に注意。2小節から3小節に移るところ、25小節から26小節に移るところ、31小節の2拍目裏から3拍目、32小節から33小節に移るところ。1小節目のA→Bも注意。

41小節のistのあとは外切りにします。そのあと、アルトだけ他のパートと異なり音が動いているので、しっかり歌いましょう。

★O, Herr Jesu Christe

OrtのOは、Wortと同じ明るい「オ」です。ちなみに、曲の最初のOは暗い「オー」です。erhaltのerは長母音にしないで下さい。

★Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

zeitlichの4分音符は母音を長く。ツァイではなくツァーイーくらいに。

ueber alleの抑揚に注意。4つの8分音符又は4分音符を同じように歌わず、一つ目のueと三つ目のalをテヌートします。

18小節の第1ソプラノの付点2分音符は短めに。2分音符と4分休符くらいのつもりで歌いましょう。

★Der Herr ist mein Hirte

2小節目の第1ソプラノのmitをmirに直して下さい。

言葉のアクセントのあるところを長目に歌いましょう。

★Aus der Tiefe

OhrenのOhは暗い「オー」です。

★Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn(Bach)

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

それぞれ一度ずつ通しました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：1名(テノール)

備考

来週も今日と同じく祭日のため、午後3時から発声個人レッスン2人、4時から全体練習です。

発声個人レッスンの予定

5月6日(祭)・・・中西(B) 中西(S)

13日・・・大庭(T)

20日・・・大庭(A)

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年4月22日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

Singet dem Herrn ein neues Lied

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。
全体発声は31分。

★Das alte Jahr vergangen ist

四分音符の順次進行(44小節の第2ソプラノ、50小節の第1テノール・第2アルト、51小節の第1アルト・第2バス)は音符を一つ一つ歌うのではなく、滑らかに歌いながらふくらみを付けて歌いましょう。
65小節から曲の最後までにも各パートに何度も出て来ますので、同じように歌いましょう。

★Zion spricht

26～29小節は4小節を一つにした大きなフレーズで歌います。20～23小節も同じように。
gaenzlichは最初にアクセントがある言葉なので、楽譜では4拍目に来ていますがはっきり歌いましょう。
40・42・47・49小節のdesselbenの語尾-benは、短くなり過ぎてきつくなりがちなので、四分音符を保って母音を長目に歌いましょう。-benと次のwuerdの間はつなげたほうが良いでしょう。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

第2テノールの24小節と35小節のリズムを正確にお願いします！ 付点の後に崩れがちです。
69小節のあとは外切りにします。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

今日は最初に全曲通してから、124～145小節を練習しました。
sondernはsoにアクセントがあるので、はっきり出しましょう。
Geistは8分音符のため短くなりがちですが、母音を長目に保って歌いましょう。
最後にChoralを練習しました。最初のDuの母音を揃えましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 大庭 翁長
バス：柿沼 中西
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

4月29日(祭)・・・翁長 黒田

5月6日(祭)・・・中西(B) 中西(S)

5月13日・・・大庭(T)

5月20日・・・大庭(A)

来週29日は祭日のため、午後3時から発声個人レッスンを2人行い、全体練習は4時からになります。時間を間違えないようにお願いします。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年4月15日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist
Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen
Singet dem Herrn ein neues Lied
J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは辻村でした。
全体発声は28分。

★Das alte Jahr vergangen ist

2度通しました。言葉のアクセントのあるところに重みがかかるように、メッサ・ディ・ヴォーチェを付け加えて歌いましょう。他の曲も同じです。

★Zion spricht

2度通しました。

★Singet dem Herrn

2度通してから、男声中心の練習をしました。

19～21小節のerzaehletのerは前綴りのerなので、長母音にしないようにお願いします！

27小節の第1テノールの歌詞unterの最後のrが抜けているので書き足しておいて下さい。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

最後のChoralから練習しました。

最初のDuとheilige Brunstは同格です。Duとheiligeの間にコンマがあるようなつもりで、隙間を開けて下さい。但し、Duが短くなり過ぎないように。

259小節のbloedigkeitの3つの四分音符は一つ一つ歌わずに滑らかに歌いましょう。

次のdassからのフレーズはたっぷり歌って下さい。262小節のフェルマータの前は収めずに大きなままで。次のdurch Todからのフレーズは丁寧にレガートで。dringenのdriは、子音をたっぷり入れて、気持ちを籠めてテヌート気味に。

次に124小節から最後までを通しました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(テノール3名)

備考

発声個人レッスンの予定

4月22日・・・堀江

4月29日(祭)・・・翁長 黒田

5月6日(祭)・・・中西(B) 中西(S)

5月13日・・・大庭(T)

5月20日・・・大庭(A)

2015年4月8日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist
J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

★Das alte Jahr vergangen ist

全体に、音符を一つ一つ歌うのではなく、言葉を喋るように歌いましょう。フレーズの中の重要な言葉に向かって進んで行きましょう。

単語の語尾は収めます。子音をしっかり発音しましょう。母音の長短を区別しましょう。

JahrのJをはっきり発音しましょう。

13小節のistは、なんとなくではなくしっかり入ってから収めます。

14小節から新しく始めます。14~20小節のwir、dirをしっかりと歌いましょう。

20~22小節のdasのdを破裂させてしっかりと歌いましょう。du unsのuの発音に注意。duは長母音でunsは短母音です。duは長母音なので深く発音しますが、決して「ドー」にはならないように。

so grosser は、soもgrosserも長母音なので暗めに。GfahrのGをしっかりと。元の単語のGefahrをイメージして歌いましょう。

bewahretのwを鳴らして、拍と同時ではなく前の拍の最後に発音してしまいましょう。

34小節最後から36小節までの第1ソプラノと第1アルトの長いフレーズのviel Zeit und Jahrは一息で歌い、39ページ下段の短いフレーズのviel Zeit und Jahrと対比させましょう。

39小節のbittenのiは短母音なので、前に出し過ぎずに奥の方で発音します。bをよく鳴らしましょう。Sohnは長母音なので暗めに。「ゾン」にならないように。

hoechstenの子音chstを飛ばして下さい。

54小節のwollstは内切りです。wollstのoは短母音なので、長母音のように暗くならないように明るく発音しましょう。

Christenheitのheitは、アクセントが付いて強くなり過ぎないように。

fernerのfをしっかりと飛ばして下さい。feの母音をはっきり。allezeitのaもはっきり。前にhが付いたりしないように。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

41小節からのdennは短過ぎずテヌート気味に。

betenは長母音ではありますが、決して「ピーテン」にならないように。

124小節からの部分は、sondern、der Geist selbst、vertritt uns、aufs besteのそれぞれの語尾の4分音符-dern、selbst、uns、-steを短めに。

142・143小節の第1ソプラノの音型は、Seufzenという言葉通りにため息を表しています。長い音Des、D、F、Asはテヌートして歌いましょう。

178小節のアルトとテノール、198小節のテノールと199小節のアルトは新しく出ます。小さ目に出て、だんだん盛り上がります。

Choral

歌い出してからBrunstに行きついてしぼんでしまうのではなく、Brunstに向かって歌い進んで行きましょう。

frohlichの母音を強調しましょう。最初の子音fもしっかり発音しましょう。getrostは時間をかけて柔らかく歌うと、言葉の意味にピッタリします。-trostのoは長母音です。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

4月15日 辻村
4月22日 ※未定
4月29日(祭) 翁長 黒田
5月6日(祭) 中西(B) 中西(S)

4月29日と5月6日は祭日のため、午後3時からの練習になります。
3時から2人発声個人レッスンを行いますので、全体練習は4時からになります。

今日は、2008～2009年の2年間ソプラノに在籍されていた田部さんが、発声から休憩まで見学して帰られました。
お菓子の差し入れもいただきました。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年4月1日 (水)

練習箇所

Tobias Michael: Aus der Tiefe
Der Herr ist mein Hirte
Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は28分。

★ Aus der Tiefe
言葉を読んでから、初めて歌詞を付けて歌いました。

★ Der Herr ist mein Hirte
一度通しました。

★ Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist
sichtbar istとunsichtbar istは、-barのrと次のiが繋がらないようにしましょう。

★ Der Geist hilft unser Schwachheit auf
第1コーラスの41～45小節、第2コーラスの45～49小節は、4小節目の1拍目を大事に歌いましょう。

59小節の第1コーラスの1拍目は、フレーズの最後ですが短過ぎないように、しっかりした声で歌いましょう。

92小節の第1ソプラノを除く全パートの4分音符は短くならないように、第1ソプラノの2拍目のhilftと同じタイミングで切りましょう。

最後に最初から最後のコーラルまで全曲通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：4人(ソプラノ2名、テノール1名、バス1名)

備考

来週の発声個人レッスンは大久保さんです。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年3月25日 (水)

練習箇所

Tobias Michael: Der Herr ist mein Hirte
Unser Truebsal, die zeitlich und leichte ist
Aus der Tiefe

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。
全体発声は28分。

★Der Herr ist mein Hirte

音符を一個ずつ歌わずに、言葉にしましょう。特にテノールの9・10小節のfrischen Wasser、20・21小節、25小節のfinstern Tal等の4分音符の連続の箇所。~schen、~ser、~ternにもアクセントが付きがちです。

8分音符が並んでいる箇所は急がないように。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

146小節のフーガから練習しました。

最初のDerは、長母音にし過ぎるとDirに聞こえてしまうので注意しましょう。

4分音符を一つずつ歌わず、一つの単語に聞こえるように歌いましょう。

169小節のテノールは、1拍目のweissよりも次のwasの方を大事に歌いましょう。

178小節から各パートに出て来るvertrittのtを前に出して歌いましょう。拍の頭では遅いです。

191小節のバスは、最初のdennを力まずに正確な音程で入り、次のFと最後のEの音が低くならないように気を付けましょう。

197小節のバスは、最後のAsが下がり切らず、Aになりがちです。

次に124小節からの部分を練習しました。

sondernの語尾は曖昧に。

Geistは8分音符なので短くなりがちですが、音符いっぱい延ばして次のselbstへつなげましょう。

Seufzenは母音で延ばしている間に何の言葉を歌っているのか忘れないように、間の-euf~もちゃんと発音しましょう。語尾は曖昧に。

最後のChoralは一度だけ通しました。

残りの時間でTobias Michaelを3曲通しました。

★Unsre Truebsal

アルトの出だしのテンポを間違えないようにお願いします！

★Der Herr ist mein Hirte

★Aus der Tiefe

まだ言葉を付けていないので、ヴォカリーゼで歌いました。来週言葉を付けます。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ・テノール各1名)

備考

来週の発声個人レッスンは柿沼さんです。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年3月18日（水）

練習箇所

Tobias Michael: Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist
Der Herr ist mein Hirte
Aus der Tiefe

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。

全体発声は33分。

★Unsre Truebsal

全体的に、長い音は軽く膨らませましょう。但し、長い音がフレーズの最後に来ている時は例外（例：15小節のHerrlichkeit等）。

13小節のeineの二つの8分音符は同じ長さにせずに、最初の方を少しだけ長目に。

14小節のMassenはマッセンではなく、マーセンです。

18小節のdieからの部分は、dieをアウフタクトのように感じて歌い、wirの方に重さをおきます。dieとwirはつなげない。

SichtbareもUnsichtbareも、最初にアクセントがあります。少しだけ強調しましょう。

24小節からのdenn was sichtbar istのフレーズは、最後のistに長い音が来ている事が多いですが(24・27・28・30小節等)、istは強調せずにsichtbarのsiに重さを感じましょう。32～34小節のwas aber unsichtbar ist も同じですが、ここはunに重さを感じて。

aberの語尾は曖昧に。決して日本語の「アーバー」ではありません！

sichtbar、unsichtbarのsiは「ジ」ではありません。カタカナで書くとズィに近いです。

★Der Herr ist mein Hirte

ヴォカリーゼで音を確認してから言葉を付けて歌いました。

最初のDerは音が長いので、rは巻いても良いでしょう。

4ページのEr erquicketのErとer~の二つのerの発音を区別しましょう。erquicketのer~を長母音にしないようにお願いします。

6ページから出て来る schon は、8分音符で忙しいのでションになりがちですが、ションです。oは暗いオーです。

★Aus der Tiefe

ヴォカリーゼで音取りをしました。言葉は来週付けます。

★Der Geist hilft unser Schwachheit auf

最後のChoralを練習しました。

Du、Brunst、nun、durch、zu、Halleluja等のuの発音が浅くならないように注意。

heiligeのliは柔らかく。ringenのriもきつくならないように。

256小節1拍目の後のコンマを活かしましょう。

257小節3拍目のbereitを切るタイミングを全パートで揃えましょう。

今日は時間の都合でバスの音程合わせのようになってしまいましたが、アルトの254小節1拍目のDと256小節1拍目裏のHの音が上がり切っていなかったので注意しましょう！

来週はこのモテットの前半も練習しますので、思い出しておいてください。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 大庭 翁長

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(ソプラノ2名・テノール1名)

備考

来週の発声個人レッスンは小沢さん、その後は未定です。

■ [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年3月11日 (水)

練習箇所

Johann Hermann Schein: O, Herr Jesu Christe
Was betruetest du dich, meine Seele
Ich lasse dich nicht

Tobias Michael: Unsre Truebsal, die zeitlich und leichte ist
Der Herr ist mein Hirte

Johann Sebastian Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf

記事

3階での練習。

発声個人レッスンは大友さんでした。全体発声は28分。

★Scheinは3曲目のO, Herr Jesuから3曲全部を1度ずつ通しました。

★MichaelはUnsre Truebsalの音取りに入りました。ヴォカリーゼで音を確認してから言葉を付けて歌いました。17小節と18小節の間ではブレスをしないようにしましょう。18小節最初のunsまで文章が続いているので。8分音符を急がないように、丁寧に歌いましょう。

次のDer Herr ist mein Hirteもヴォカリーゼで音取りをしました。言葉は来週付けます。来週は3曲目にも入る予定です。

★Bachは久しぶりにDer Geist hilft unser Schwachheit aufを通したあと、最後のコラールを練習しました。Du、Brunst、Halleluja等のuは浅くならないように気を付けましょう！
heiligeのliはきつくならないように柔らかく歌いましょう。
Brunst、Trost等の最初の子音を前に出して歌いましょう。語尾のstもはっきり発音しましょう。
bleiben、abtreiben等のeiの発音に注意。イは強調せず曖昧に。

今日の練習の最後にこのコラールを歌ったのは、4年前の3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々への追悼の意味もあったのですが、久しぶりに歌ったため思い出すのが精いっぱい、あまり気持ちのこもったものにならなかったのが残念でした・・・。

来週はこのモテット全曲をしっかりと練習しますので、思い出しておいて下さい。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：1名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定
3月18日・・・平石
3月25日・・・小沢

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年3月4日 (水)

練習箇所

Schein: O, Herr Jesu Christe
Was betruebst du dich, meine Seele
Ich lasse dich nicht

Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist
Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen
Singet dem Herrn ein neues Lied

記事

発声個人レッスンは大庭さん(A)でした。
全体発声は29分。

★O, Herr Jesu Christe

vorueber~, guter等の語尾のerは日本語の「バー」、「ター」にならないように曖昧に発音しましょう。
deinの前にnを入れないようにお願いします。
21・28小節のerhaltのerは長母音にしないで下さい！

★Was betruebst du dich, meine Seele

wasの前にnを入れないようにお願いします。
7~9小節のアルトの音程を正確に。8小節の4番目の音と9小節の3番目の音はFです。#を付けないように注意しましょう！
10小節のHarreのhの発音に注意。力んで前にchが入っています！ Gottのoは明るい「オ」です。Gは鼻濁音にならないように注意。
16小節から何度も出て来るAngesichtesの発音に注意。この単語はAnとGesichtesが合わさったものです。nとgをつなげて鼻濁音にしないで下さい。

★Ich lasse dich nicht

19・22・29小節に出て来るバスのE-F-Gisの音程を正確にお願いします。Gisが上がり切っていません！ 28小節のGは#が付いていないので、逆に上ずらないように。

★Das alte Jahr vergangen ist

alteは音符を一つ一つ押して二つに分かれないように。vergangenも同じで、三つに分かれないように。vergangenの語尾は、鼻濁音で曖昧に発音しましょう。
48小節の第2テノールのCに#が付かないようにお願いします。49小節のHの音はもう少し下です。時々上ずっています。

★Zion spricht

Mutterの語尾のterは「ター」になり過ぎないように曖昧に。
gaenzlichはgaenzが4拍目、lichが次の小節の1拍目にあるので、アクセントがlichの方に付いてしまいがちですが、言葉のアクセントはgaeにあるので注意しましょう。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

35小節の第2テノールの1拍目と2拍目のリズムを正確にお願いします。付点4分音符が長過ぎて、次の三つつながった8分音符が3連符になってしまっています。
wunderbarlichの~derは「ダー」になり過ぎないように曖昧に発音しましょう。アクセントは言葉の最初です。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 山村
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

3月11日 大友
18日 平石
25日 小沢

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年2月25日（水）

練習箇所

Johann Hermann Schein

1. Ich lasse dich nicht
2. Was betruerst du dich, meine Seele
3. O, Herr Jesu Christe

記事

今日は2階の部屋が使えないため、3階での練習でした。
発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。
全体発声は30分。

内容

★Ich lasse dich nicht

復習。2回通しました。

17小節の最初の全音符で一旦終わり、次の第1ソプラノから新しいフレーズが始まります。

★Was betruerst du dich, meine Seele

ヴォカリーゼで音を確認してから言葉を付けました。

betruerstの発音に注意。U-ウムラウトは、もう少しイの要素を多くして下さい。

語尾の3つの子音bstをしっかり言い切ってから次のduに入して下さい。

wasの前にnを入れないようにお願いします。

unruhigのuが浅くならないように気を付けましょう。

7～9小節のアルトの変化記号を正確にお願いします！

12～15小節に各パートに出て来るdenn ichの付点4分音符と8分音符の歌い方に注意。付点は延ばし過ぎずに短めに
して、隙間を開けて次のichに行きましょう。

16小節から出て来るAngesichtesのgが鼻濁音にならないようにお願いします。AnとGesichtesが合わさった単語なので、gが鼻濁音になる事は有り得ません！

37～39小節に出て来る付点8分音符と16分音符のリズムを正確に歌いましょう！

★O, Herr Jesu Christe

ヴォカリーゼで音取りをしてから、言葉を付けて歌いました。

21・28小節のerhaltのeは長母音ではないので発音に注意しましょう。
25小節最後の第1ソプラノのver-のrが消えていますので、書き足しておいて下さい。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：2人(ソプラノ・テノール各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

3月4日・・・大庭(A)

3月11日・・・未定

3月18日・・・平石

来週はTobias Michaelに入ります。どんどん音取りを進めて行きますので、予習をお願いします。そして今までに練習した曲も忘れないように復習をお願いします！

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年2月18日 (水)

練習箇所

Calvisius: Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen
Singet dem Herrn ein neues Lied
Schein: Ich lasse dich nicht
Was betrubst du dich, meine Seele

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。全体発声は30分。

★Zion spricht

vergessenの語尾のsenは曖昧に歌いましょう。日本語の「セン」にならないように。verlassenも同じ。

20・21小節のkann auch ein leiblich Mutterと22・23小節のihres Kindleins ganzlich vergessen? は、一つのフレーズになるようにつなげて歌って下さい。26・27小節と28・29小節も同じようにお願いします。

★Singet dem Herrn

Singetの語尾のeは日本語の明るい「エ」にならないように、語尾を意識して曖昧に歌いましょう。

10小節、16小節のバスの最後の音はCではなくCisです。シャープを付けて下さい(前回の練習で訂正しました)。

24小節と35小節の第2テノールは、リズムを正確にお願いします。

70小節のバスの入りの音はCです。違う音から入らないようにお願いします。

★Ich lasse dich nicht

ヴォカリーゼで音取りをしてから、言葉を付けて歌いました。

segnestの発音に注意。gは濁ります。

★Was betrubst du dich

ヴォカリーゼで音取りをしました。言葉は来週付けます。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：2人(ソプラノ・テノール各1名)

備考

2階の練習室が寒いので、冬の間は3階に替えていただきましたが、その3階の暖房機が故障のため、また2階に戻りました。来週以降も2階です。

発声個人レッスンの予定

2月25日・・・大庭(B)

3月4日・・・大庭(A)

3月11日・・・未定

3月18日・・・平石

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年2月11日（水・祝）

練習箇所

Calvisius

1. Das alte Jahr vergangen ist
2. Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen
3. Singet dem Herrn ein neues Lied

記事

祭日のため、いつもより早い3時からの練習。発声個人レッスンは、平日に受けられない人を優先して行いました。3時から中西宏年さん、中西亜紀子さん、山村さんの3人。

4時半から全体発声。39分。

★Das alte Jahr vergangen ist

復習。言葉で歌いました。

★Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

ヴォカリーゼを通して、音を確認してから言葉を付けました。

50小節第1アルト最初の音は、シャープを付けてDisにしてください。

★Singet dem Herrn ein neues Lied

ヴォカリーゼで音取りをしてから言葉を付けました。

10小節と16小節第2バス最後の音は、シャープを付けてCisにしてください。

今日で8声の曲の音取りが全て完了しました！ 各自復習をお願いします。前に練習したBachも思い出しておいて下さい。

来週はCalvisiusの復習とScheinの1曲目Ich lasse dich nichtの音取りに入ります。

今日は練習開始時間が早かったので、30分程早目に終了しました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(アルト・テノール各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

2月18日(水) 堀江さん

2月25日(水) 大庭さん(B)

3月4日(水) 大庭さん(A)

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年2月4日 (水)

練習箇所

Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

Calvisius: Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。全体発声は35分。

★Das alte Jahr vergangen ist

39小節から最後までと、最初から38小節に分けて復習。最初は2パートで、その後全パートで歌いました(言葉で)。

★Zion spricht

2パートずつ、ヴォカリーゼで最後まで音取りをしました。最後に全パートで通しました。来週言葉を付けます。

5線の上の変化記号は、原則として活かします。

35小節第1ソプラノの3拍目裏はAです。ナチュラルを付けて下さい。

36小節第1テノールの最後の音もAです。ナチュラルを付けて下さい。

47小節伴奏右手の和音の真ん中の音はGです。ナチュラルを付けて下さい。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ・テノール各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

11日(祭) 3時～ 中西(B)
3時半～ 中西(S)
4時～ 山村

18日 6時～ 堀江

練習予定表では来週の練習は3時からになっていますが、発声個人レッスンが3人入りますので、全員での練習は4時半からになります。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年1月28日 (水)

練習箇所

Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

J.S.Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn BWV Anh.159

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は33分。

★Das alte Jahr vergangen ist

最初に先週音取りした38小節までをヴォカリーゼで通してから、2パートずつ分けて音を確認。その後2パートずつで39小節から最後まで音取りをしてから、全曲をヴォカリーゼで通し、最後に言葉を付けて歌いました。

13小節は全パート同じ長さにします。第1アルト、第1テノール、第1バス、第2テノールは大全音にして休符を消して下さい。

15小節第1テノール最初の音はFです。ページを開いてから慌てないようにナチュラルを書き足しておくとうまいでしょう。

56小節の第1アルト最初の音符は付点二分音符です。付点が落ちているので付けておいて下さい。

63小節の第1ソプラノ、64小節の第2アルト最後の音は大全音にして、次の休符を消して下さい。

★Ich lasse dich nicht

言葉で全曲通したあと、84小節からテノールとバスの練習をしました。

テノールは100小節からの長い音をのばしている間に数がわからなくなってしまうようです。…gnestに早く入り過ぎていきますので、他のパートを聴きながら正確に数えて歌いましょう！

バスの101小節最初のEの音、103小節最初のHの音、111小節二つ目のEの音は下に行き過ぎないように、高めをお願いします。

segnestの最初の母音は長母音です。日本語のゼよりも少しだけイに近付けて下さい(全パート)。

Ich lasse dich nichtのdichのchをちゃんと発音しましょう。

最後に全曲通しましたが、バスは音が不正確な箇所がいくつかありました。特に休符のあとの音がいつも不安げなので、自信をもって出られるように練習しておいて下さい。

●87小節3拍目裏の出だしのGの音が取れていません！ どのパートからも取りやすいと思いますが…。

- 89小節の出だしのEsも不正確です。直前のテノールと同じEsです！
- 94小節最後の二つの音はAです。Asになっていました！ ナチュラルを見落とさないようにお願いします！
- 95小節1拍目裏のCの音が不正確です。ラ、シドレと思うと取りやすいと思います。
- 97小節3拍目のGにフラットが付いていました！ ここはレドレドシと思うと取りやすいでしょう。

来週はCalvisiusの次の曲Zion sprichtに入りますので、予習をお願いします。音源は楽譜より3度高く歌われていますが、私達は楽譜通りの高さで歌います。

※楽譜の訂正・・・35小節第1ソプラノの最後から二つ目のAの音にナチュラルを付けて下さい。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
 アルト：大久保 大友 大庭 堀江
 テノール：翁長 大庭
 バス：柿沼 中西 山村
 欠席：3人（ソプラノ1名・テノール2名）

備考

今日から暫くの間、練習室は2階から3階へ変更になりました。

来週の発声個人レッスンは大久保さんです。
 再来週は祭日ですので、平日に発声個人レッスンを受けられない方は良い機会です。
 希望される方は是非、辻村までお申し出下さい！

■冒頭へ

月初の練習日に移動

2015年1月21日（水）

練習箇所

J.S.Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn BWV Anh.159
 Sethus Calvisius: Das alte Jahr vergangen ist

記事

発声個人レッスンは辻村でした。全体発声は40分。

★Bach

ヴォカリーゼで音を確認してから、最後に言葉を付けて歌いました。

84小節アルトの2番目の音と4番目の音は同じCの音ですが、あとの方のCもしっかり歌って下さい。

但しlasseのseにあたる部分なのでアクセントが付かないように。86小節も同様。

90小節バスの最後の音は四分音符です。テノールに合わせて八分音符にしないで下さい。

98小節のアルトとテノールは同じGです。アルトは直前のFから上がり切らず低くなりがちなので、高めに歌いましょう。

100小節最初の音は3パートともFです。アルトは直前のEから上がり切らず低くなりがちなので、高めに歌いましょう。

101小節バスの最初のEの音は高めに歌って下さい。

110小節アルトの最後から2番目の音と、111小節バスの最初から2番目の音は高めにお願いします。

★Calvisius

Das alte Jahr vergangen istの音取りに入りました。ヴォカリーゼで38小節まで。
※ ヴォカリーゼで歌っている時も、下に書いてある言葉を見ながら歌いましょう。
くれぐれも単語の途中でブレスをしたりしないようにお願いします。
※ 音の長さを間違えないように、しっかり数えましょう！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：2人（テノール・バス各1名）

備考

来週の発声個人レッスンは柿沼さんです。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年1月14日（水）

練習箇所

J.S.Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn BWV Anh.159

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。全体発声は24分。

84小節から音取りをしてから、最後に全曲通しました。来週言葉を付けます。

変化記号に注意！

101小節バスの最初の音はEです。フラットを付けないように。

103小節バスの最初の音はHです。下に行き過ぎてBにならないように。

104小節アルトの最初のEの音はしっかり上がりましょう。

110小節3拍目裏のアルトのEsの音をしっかり出しましょう。

111小節バスの1拍目裏のGの音を正確に。アルトを聴いていると取りやすいでしょう。

114小節アルトの2拍目のAの音はフラットが付かないように。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：2人（ソプラノ・テノール各1名）

備考

発声個人レッスンの予定

1月21日・・・辻村

1月28日・・・柿沼

2015年1月7日（水）

練習箇所

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf BWV226

J.S.Bach: Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn BWV Anh.159

記事

発声個人レッスンは大庭さん（アルト）でした。全体発声は33分。

★BWV226

最初のDerは軽く歌いましょう。16分音符の部分は全部の音を均等に歌わず、1拍目と3拍目に山が来るように、波打つように歌いましょう。

93小節からの部分でwissen、sollen、beten等の語尾のenは、アクセントが付かないように収めてください。

124小節からの部分のGeistは、8分音符の中で言わなければならないので忙しいですが、最後の~stまでしっかり発音しましょう。

146小節からの部分は、アウフタクトのDerにアクセントが付かないように。

音符を一つ一つ歌わず、aber、Herzen、forschet、Geistes等の言葉の本来の発音を考えながら歌いましょう。そうすれば語尾にアクセントが付いたりしないはずですよ！

178小節からの部分のden er ver~の3つ続く4分音符は、均等にならないように。

191小節のバスの最後の音はEです。フラットを付けないように。

197・216小節のバスのAsの音に注意！ フラットがナチュラルになりかけています。

Choralの249小節のテノールは、2拍目のgeにアクセントが付かないようにするため、1拍目と2拍目の間は切らずに一息で歌って下さい。

テノールはフレーズの最初のDu、die、dass、durch等の前にnが付きがちなので気を付けましょう！

uの発音が浅くならないように注意！（特にアルトとテノール）

★BWV Anh.159

83小節までの8声の部分をヴォカリーゼで練習しました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大庭

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人（アルト2名、テノール1名）

備考

来週の発声個人レッスンは小沢さんです。

定期演奏会のCDが出来ましたので、申し込んだ方は受け取って下さい。千円です。

2014年12月17日（水）

練習箇所

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。全体発声は30分。

内容・・・4声のフーガの部分（146～244小節）から練習。最初に全パート一緒に言葉で通してからバスの練習。

バスは特にフラットやナチュラル等の変化記号を正確にお願いします！！

フレーズの最初のDの前にnを入れないで下さい！

コンマを意識して歌って下さい。

その他のバスの注意点

- ・曲の最初の出を、自信をもってしっかり出て下さい！
- ・aberのberは、曖昧に。アクセントはaにあります！
- ・148・159・162・173・185・196・215・225・小節等では、2番目と4番目の音が強くならないように。
- ・153小節のDの音は下から入らないように。
- ・159小節最後のBの音に注意。フラットがナチュラルにならないように。
- ・162小節の最初の音はDです。ここは前の音から3度下がるので要注意。
- ・186～188、216～219小節のような音型は滑らかに。
- ・191小節の最初のCの音をもう少し上から取りましょう。下から入ると続く音も皆低くなってしまいます。最後の音はEです。フラットがつかないように。
- ・197小節最後のAsの音は、フラットが取れてAにならないように。
- ・208小節の2番目のDの音から3番目のGの音への跳躍が上がり切っていません。
- ・209小節最初のEの音はEsにならないように。
- ・215小節最後の音はAですが、次の216小節2番目の音はAsなので混同しないように。
- ・217小節の最後から2番目のEsの音にも注意！
- ・219小節の2番目の音は、しっかりEsに下りましょう。
- ・234小節の2番目のDの音が下に行き過ぎないように。次の小節の最初のEの音も注意。フラットがつかないように。その次の236小節の2番目の音はフラットがついているので注意。

休憩後は最後のChoralの音取りをしました。最初は階名で。次にuの母音で滑らかに歌う練習をしてから、最後に言葉をつけました。

練習の最後に、この曲を全曲通して今年の練習を終わりました。この曲は一応音取りが終了したので、忘れないようにお願いします。

新年最初の練習は、新しい曲Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn, BWV Anh.159に入りますので、予習をお願いします。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 辻村
アルト：大久保 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：3人(ソプラノ・アルト・テノール各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
1月7日・・・大庭(アルト)

来週の水曜日は12月24日で、水野先生は教会で奏楽のお仕事があるため、練習はありません。今日は今年最後の練習でした。練習後は毎週寄っているお店で忘年会を行いました。

参加者は先生を含めて12人でした。

色々な都合で練習、そして忘年会に参加出来なかった人は残念でしたが、来年1月7日の初練習は全員参加出来ますように！

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年12月10日（水）

練習箇所

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226 (244小節まで)

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は32分。

★最初に124小節から145小節までの復習。 lo、次に子音を取ったuで音を確認してから言葉を付けました。次に146小節からの4声の部分に入り、lo又はlu、次にuで音を取ってから言葉を付けました。

ヴォカリーゼで練習している時も言葉を見ながら歌い、ブレスはコンマのところできるようにしましょう！！

練習の最後に、曲の最初から244小節まで言葉で通して歌いました。

来週は最後のコーラルも練習します。各自、予習復習をお願いします。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：3人(ソプラノ・テノール・バス各1名)

備考

来週の発声個人レッスンは大庭さん(テノール)です。

今日は練習の合間に総会を行いました(10分弱で終わりました。)

来週は年内最後の練習です。練習後に毎週寄っているお店で忘年会を行います。
普段は参加出来ない方も、出来たら是非参加して下さい！

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年12月3日（水）

練習箇所

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは大友さんでした。全体発声は24分。

最初に全パートで124小節までを言葉を付けて通してから、先の音取りに入りました。124～145小節までをヴォカリーゼで色々な組み合わせで練習してから、全パートで通しました。この部分はまだ言葉を付けませんでした。124小節までの部分もしっかり復習しました。

来週は124～145小節までの言葉を付け、先の4声の部分に入ります。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(テノール2名)

備考

来週の発声個人レッスンは柿沼さんです。

来週(10日)は8時から30分程、総会を行います。

年内の練習は再来週(17日)で終わりです。練習後、毎週の練習後に寄っているお店で忘年会を行う予定です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年11月26日（水）

練習箇所

J.S.Bach: Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226

93小節から123小節までの復習をしてから、最後に曲の最初から123小節までを全パートで通しました。

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。全体発声は34分。

★発音に関して

dennやderの前にnが入らないように気を付けましょう。

wissenの発音に注意。ヴィーセンでもヴィーゼンでもありません。ヴィッセンです。

betenの最初のeは長母音ですが、ビーテンになり過ぎないようにしましょう。

gebuehretのu-ウムラウトは、長い音で延ばしている間にウになってしまわないように。もう少しイに近付けて下さい。

★音程に関して

95小節の第2アルトは、2拍目のHと3拍目のCの音が上がりきっていません。

第2バスは95小節3拍目のEsの音と、次の96小節1拍目のDの音が下に行き過ぎています！ 練習したあと他のパートと一緒に歌うと、つられてまた元に戻ってしまっています。95・96小節の音程を正確に覚えて下さい。難しい音程ではなく、単純な音階です！

102小節の第2バスのEの音は下に行き過ぎないように、高めにお願いします。

先週は最初から123小節までを練習して、今日は次の4拍子の部分に入る予定でしたが、結局先には進めませんでした。この部分の音取りがしっかり出来るまで、先には進まないそうです。

練習の最後に通した前半は、先週までに練習した事をだいぶ忘れてしまったようでした。

音取りを早く進めるためにも、譜読みに時間がかかる人は家でしっかり予習・復習をお願いします！ 曲はまだまだたくさんあります！

★注意・・・他のパートが練習中は、声を出して自分のパートの音取りをしないようにお願いします！

★パートの移動・・・今日から第1テノールの片岡さんと、第2テノールの大庭さんが入れ替わりました。第1テノールは小沢さんと大庭さん、第2テノールは翁長さんと片岡さんです。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西

アルト：大久保 大友 大庭 堀江 吉川

テノール：小沢 翁長 大庭 片岡

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ2名)

備考

来週の発声個人レッスンは大友さんです。

♪ コンサートのお知らせ

30日の日曜日に、水野先生が指揮される東京クリスマス・オラトリオ・アカデミーの演奏会があります。大久保さん、堀江さん、吉川さんが合唱で参加します。曲はJ.S.バッハのクリスマス・オラトリオ第1～第3部とミサ曲イ長調です。

場所は杉並公会堂で、午後2時半開演です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年11月19日（水）

練習箇所

J.S.Bach : Der Geist hilft, unser Schwachheit auf, BWV226

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。全体発声は24分。

1ページくらいずつ区切りながら、最初はヴォカリーゼで音の確認をしてから言葉を付けて歌いました。

今日は、先週不在だった第2テノールの音取りが中心の練習になりました。

先週の練習日誌にも書きましたが、hilftに付いている前打音は付けて歌う事になりましたので、73小節の第2テノールも他のパートと同じように歌って下さい。

(四分音符を八分音符二つに分けて歌います。)

今日は一応123小節まで歌いましたが、細かい練習が出来なかった45ページ下段あたりから来週の練習を始める予定です。もちろん124小節から先にも進みますので、予習・復習をお願いします。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江 吉川

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼

欠席：3人(ソプラノ・テノール各1名、バス2名)

備考

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年11月12日 (水)

練習箇所

J.S.Bach : Der Geist hilft, unser Schwachheit auf, BWV226

記事

演奏会後初めての練習日でした。

発声個人レッスンは辻村でした。全体発声は26分。

★最初にヴォカリーゼで全曲通してから、123小節までを2パートずつ音取りしました。

Schwachheitの~heitに付いているトリルや前打音は、今は付けません。hilftの前打音は付けます。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江 吉川

テノール：小沢

バス：柿沼 中西 山村
欠席：欠席4人(アルト1名、テノール3名)

備考

来週の発声個人レッスンは堀江さんです。以後未定です。希望者は辻村までお申し出下さい。

もう一曲、ScheinのIch lasse dich nichtの楽譜も配布しました。他の曲も順次配布予定です。J.S.Bachと、それ以前のトーマスカントルの曲の楽譜を準備中です。

パートは今までと同じで、柿沼さんと大庭さんが入れ替わり、アルトに吉川さんが加わりました。

ソプラノ1： 繁松 辻村 中西
ソプラノ2： 黒田 名阪 平石
アルト1： 大友 堀江
アルト2： 大久保 大庭 吉川
テノール1： 小沢 片岡
テノール2： 翁長 大庭
バス1： 中西
バス2： 柿沼 山村

水野先生指揮の演奏会2件

1. 11月16日(日) 午後4時半開演 明治学院白金チャペル
明治学院大学グリークラブ第65回定期演奏会

高田三郎： 「確かなものを」
パレストリーナ： ミサ・ブレヴィス

2. 11月30日(日) 午後2時半開演 杉並公会堂大ホール
第22回東京クリスマス・オラトリオアカデミー公演

J.S.Bach： クリスマス・オラトリオ(第1～3部)、ミサ曲イ長調